

「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」AQUA (Asia-Kyushu Advanced Medical Network)活動報告：第4巻

清水, 周次
九州大学病院

中島, 直樹
九州大学病院

<https://doi.org/10.15017/10571>

出版情報：「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」 TEMDEC活動報告. 4, pp.1-112, 2008-04. AQUA事務局

バージョン：

権利関係：

2. 本年度の成果

平成19年度の主な活動成果

1. ヨーロッパとの初めての接続
-GEANT2,TEIN2との協力体制の確立
2. セキュリティーを伴った8箇所接続システムの採用
3. 接続施設の大幅な増加
4. アジア遠隔医療シンポジウムの開催
5. アジア遠隔医療開発センターの設立に向けたワーキンググループの設置



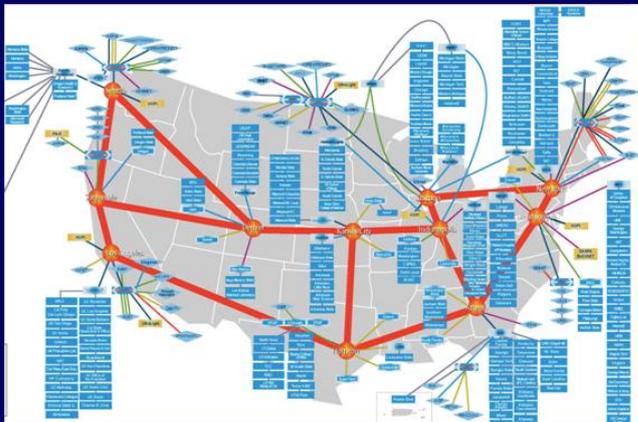
平成19年度の主な活動成果の一覧。

研究・教育用ネットワークの特徴

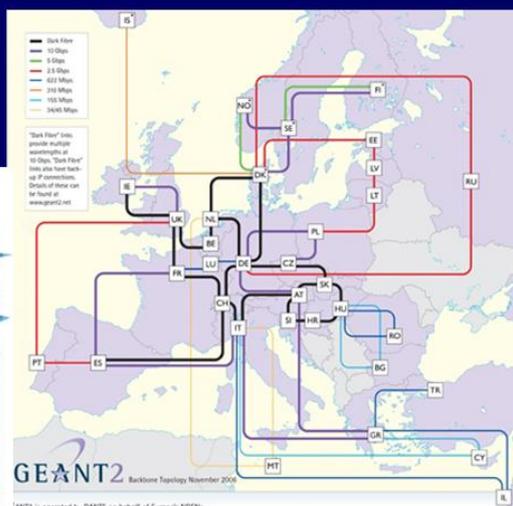
	通常のインターネット	研究・教育用
設置	サービスプロバイダー	政府など
運用・管理	サービスプロバイダー	研究者
費用	契約による	ユーザーは無料
回線容量	契約による	回線による
コンテンツ	制限なし	研究・教育用のみ
品質	そこそこ	最良
先端技術	ほとんどが不可	可能(IpV6 etc.)
サポート	契約による	24時間、年中無休

通常のインターネットと研究・教育用ネットワークとの比較。

欧米における 研究・教育ネットワーク



アメリカ: Internet2 により
200以上の大学が接続



ヨーロッパ: GEANT2
は34の国々を接続.

欧米における研究・教育用ネットワーク図。

内視鏡ライブデモ:ヨーロッパとの初めての接続

2007.8

バンコク(タイ)

西安(中国)

福岡(日本)

ソウル(韓国)

台北(台湾)

京都(日本)

ハンブルグ(ドイツ)

クアラルンプール(マレーシア)

平成 19 年 8 月、APAN 西安において、ヨーロッパを含む 8 施設間のライブデモが開催された。



アジア遠隔医療シンポジウム

日本学術振興会「アジア科学技術コミュニティ形成戦略」機動的国際交流支援
九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト(P&P)報告会
九州大学病院中期目標最終年度 国際連携関連報告会

開催日: 2007年 12月 7日(金)・8日(土)
会 場: 九州大学医学部 百年講堂 (7日)
 コラボステーション1(8日)
参加費: 無料

九州大学はアジアで急速に整備されつつある学術用高速インターネット回線と日本で開発された動画伝送システムを利用し、医工連携の下、世界に先駆けて全く新しい遠隔医療システムの確立に成功しました。本技術は遠隔地でも劣化のない医療画像の共有と双方のスムーズなコミュニケーションを可能にするのみならず、専用の遠隔医療機器を新たに購入する必要がなく、安価かつ簡単に構築できるのが特徴です。設備投資が少なく、誰でも構築できるメリットは、アジアへ向けた情報発信の基盤作りには不可欠な要素です。日韓で始まった本プロジェクトは既にアジア太平洋地域に大きく広がり、アメリカ・ヨーロッパへも展開されつつあります。この新しいアジア遠隔医療活動の持続的発展のためには、九州大学病院内への「アジア遠隔医療センター」の設立と、各国の拠点大学・病院を軸とした自立的行動計画と協力的プログラムの作成が急務です。本シンポジウムにおいてはこれまでの活動を顧み、広く社会への広報と共に、今後の確固たる組織作りを視野に入れた課題の抽出と意見の交換を行います。

- 主催 九州大学病院 光学医療診療部、医療情報部、日本学術振興会「アジア科学技術コミュニティ形成戦略」
- 共催 九州大学P&P、日本学術振興会「拠点大学交流事業」、日本学術振興会「アジア研究教育拠点事業」
- 協賛 ジェンソン・エンド・ジェンソン(株)、オリン(システム)システムズ(株)、九州電力(株)
- 後援 福岡県、福岡市、九州大学アジア総合支援センター、AFAN-Japan
- 協力 九州経済連合会、九州情報通信連携推進協議会、九州大学国際交流課、九州大学情報基盤研究開発センター、九州大学病院地域医療連携センター・アジア国際医療連携室、九州キガポッププロジェクト

■お問い合わせ: 九州大学病院 光学医療診療部
〒812-8582 福岡市 東区 馬出 3-1-1 TEL: 092-642-5856
E-mail: shimizu@med.kyushu-u.ac.jp ホームページ: http://aqua.med.kyushu-u.ac.jp

プログラム (第1日目)

12月7日(金) 会場:百年講堂 (中ホール 2)

9:30-10:00	登録、受付
10:00-10:30	開会挨拶 開会の辞 田中雅夫(九州大学病院光学医療診療部部長) 主催者挨拶 柳澤正治(九州大学理事・副学長) 水田研代(九州大学病院院長) 副議長(文部科学省 科学技術・学術政策局 科学技術・学術総括官) 来賓挨拶
10:40-11:20	基調講演(1) 発表言語<日本語> 日英同時通訳あり 「九州大学が発信するアジア遠隔医療活動」 清水周次(九州大学病院光学医療診療部 准教授)
11:20-12:00	基調講演(2) 発表言語<日本語> 日英同時通訳あり 「アジア研究・教育用ネットワーク「APAN」って何？」 北村泰一(独立行政法人情報通信研究機構)
12:00-13:30	昼食
13:30-15:30	国際テレシナジウム ライブ中継 会議言語<日英同時通訳> 「アジアの大学病院における遠隔医療システムの現状」 九州大学病院におけるアジア遠隔医療センターの設立に向けて) 議長 中島康樹, Han HS 病院講師 JungHun Lee シドナルズアングラ病院からの中継 主任エンジニア Sew Hoo Lim シンガポール大学病院からの中継 主任エンジニア Colin Carati 「フィンダー」大学病院(オーストラリア)からの中継 教授 Patrick Lam 「香港中文大学病院からの報告」 主任エンジニア 中島康樹 「日本と九州大学病院の現状」 医療情報部講師
15:30-16:00	休憩
16:00-18:00	ワークショップ 会議言語<日本語> 日英同時通訳あり 「アジア遠隔医療プロジェクトのさらなる展開: 期待される医療コンテンツ」 16:00-16:20 「内視鏡外科」 東京医科歯科大学消化器外科講師 小嶋一幸 16:25-16:45 「消化器内視鏡」 京都府立医科大学消化器科前部長 田中聖人 16:50-17:10 「ロボット」 九州大学先端医療医学講座教授 橋爪誠 17:15-17:35 「移植」 九州大学病院腎臓病治療部准教授 杉谷高 17:40-18:00 「遠隔看護」 日本赤十字社九州国際看護大学学長 藤多尚子
18:00-18:10	来賓挨拶 前澤裕子(日本学術振興会国際事業部地域交流課長)
18:15	閉会
18:30-20:30	懇親会(中ホール1)

会場:会議室 2

13:30-15:30	Q&Aセッション 会議言語<日本語> 議長 前澤裕子 副議長 VIGNZplus ネットワークによるネットワーク構成の変更について ・次期APAN・ハワイ会議対応について ・次期拠点大学交流センター対応について ほか
16:00-18:00	HLKミーティング 会議言語<英語> 議長 岡村結二, Hong CS ・今年の日報の送呈レポート・九州大学、慶応大学、全南大学の遠隔医療など ・来年の共同研究計画 1)無線ネットワークによるリモートアクセス 2)CDNとVMを用いた負荷分散機 ほか

平成 19 年 12 月、九州大学病院で「アジア遠隔医療シンポジウム」が開催された。

アジア遠隔医療シンポジウム 2007.12.7-8



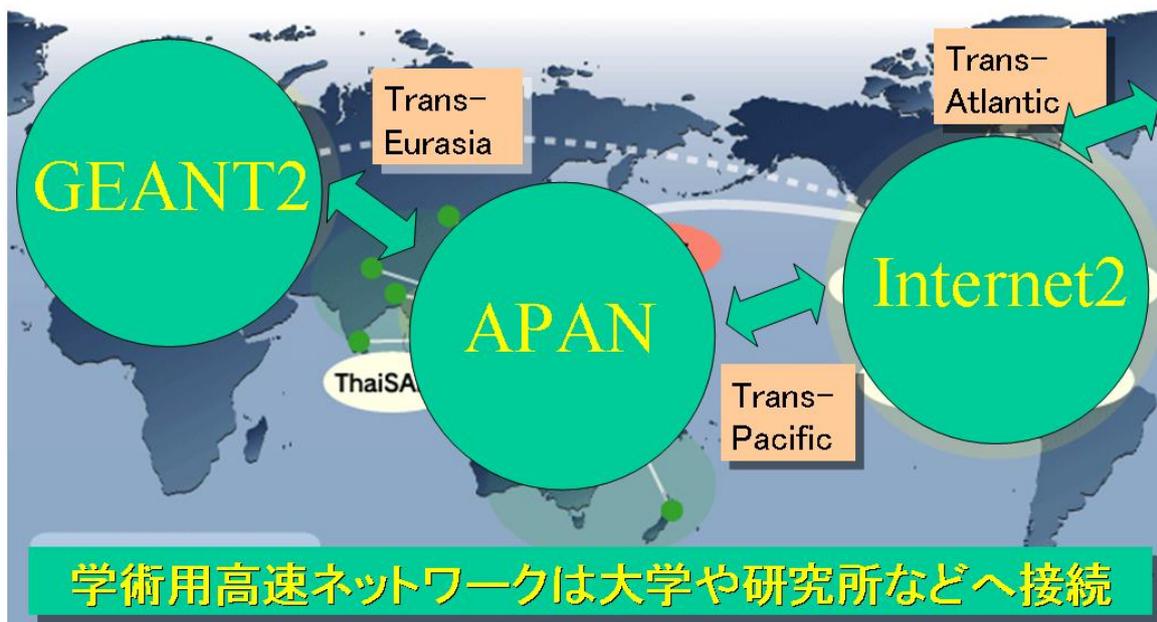
8 カ国より 150 名以上のドクターやエンジニアが参加した。

Asia-Pacific Advanced Network (APAN)



APAN ネットワーク図 (平成 19 年度 10 月現在)。

世界を結ぶ研究・教育ネットワーク



研究・教育ネットワークは、今や世界中の大学や研究施設を結んでいる。